一、自轉車の積込量額を正常に入れ改める

一、運送出一撤廢一正常な量額を入れる

一、機械船に依る砂利採取絶對反對

一、大會に嚴肅に大會を行ふ

一、大會スローガン

一、主催　全評中部地方評議會　中部地方自由勞働組合

後援者　朝鮮人自由勞働者五十名

崔 基 字　外百十十名（十四丁場關係者）

李 天 雨　金 俊 默　李 龍

中部中部地方自由勞働組合員

山 嵜 富 吉　小 松 勇　近 藤 信 一

一、出席者　日本勞働組合總評議會中部地方評議會

一、場　所　名古屋市東區泰下町

一、日　時　昭和八年十二月十日午後一時三十分より同三時五十五分

名発第三十七號　砂利採取從業員大會開催の件

法人協調會名古屋出張所

砂利堀禁止區域及び工場中止反對を[illegible]より補強す

一、賃銀二割即時値上シロ

一、砂利採取從業員組合大會萬歲

一、議　長　[illegible]中部合同勞働組合　[illegible]（總同盟本部[illegible]）　關西地方評議會

副議長　[illegible]近　[illegible]信　一

一、書　記　[illegible]朴[illegible]延[illegible]夏

一、書　記　[illegible]矢[illegible]書

一、[illegible]金[illegible]俊[illegible]（別記）

一、決議文朗讀　李　海　龍（別記）

一、閉會の辞　[illegible]決と共に金[illegible]を[illegible]し十二[illegible]に[illegible]することに決

一、經過報告　曹　七　星

中部自由結成以來二年日尚淺しと雖も凡る苦鬪の結果內場土地より庄內町まで

完全に分會を組織し其の數十四工場に達するに至つた。

目下枇杷島町西田工場、伊井工場に對して鋭意活動中であり各員の應援を望む

一、會計報告　（大會費用）　貞

收　入　庄內支部二圓九〇錢　支　出　一六圓七八錢

財團法人協調會名古屋出張所